
2022年3月期第2四半期 決算説明会

株式会社クロスキャット

2021年11月19日



2022年3月期第2四半期決算説明会

【第1部】

取締役執行役員 山下 智己

1. 2022年3月期第2四半期 決算の概要

【第2部】

代表取締役社長 井上 貴功

2. DXビジネスの推進について
 - 2-1. 拡大するDX市場
 - 2-2. 当社が担うDXビジネスの概要
 - 2-3. 当社におけるDXビジネス戦略
 - 2-3-1. DX推進支援サービスのフレームワークの提供
 - 2-3-2. DXサービスマッピング
 - 2-3-3. データ・業務ノウハウを活用したDX支援サービスの拡充
 - 2-4. 「CC-Dash」を通じたDX推進サポート実績
 - 2-5. 社内におけるDX推進状況
 - 2-5-1. 社内におけるDX推進実績

1. 2022年3月期第2四半期 決算の概要



1-1. 2022年3月期第2四半期 決算の概要(連結)

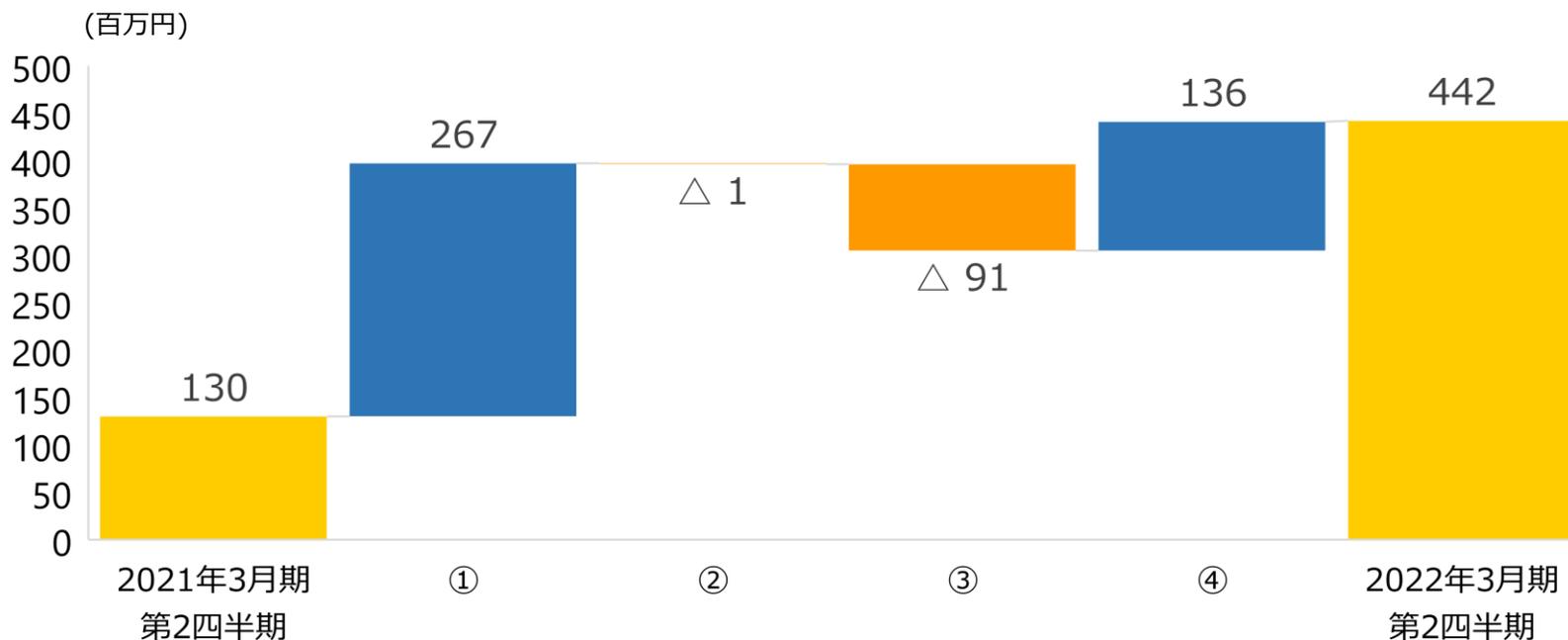
▶金融、官公庁、通信、製造など幅広い分野で売上が伸長し、前年比で増収増益

	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期					
	実績		期初予想		実績			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比	予想比
売上高	4,301	100.0	5,200	100.0	5,626	100.0	30.8	8.2
売上総利益	869	20.2	1,075	20.7	1,272	22.6	46.4	18.4
販管費	738	17.2	895	17.2	830	14.8	12.4	△ 7.2
営業利益	130	3.0	180	3.5	442	7.9	238.4	145.8
経常利益	149	3.5	210	4.0	472	8.4	216.8	125.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	92	2.2	130	2.5	307	5.5	232.0	136.6

(百万円、%)

1-2. 営業利益の増減要因分析（対前期比）

▶ 増収及び稼働率の改善に伴う増益が販管費の増加を上回り、大幅な増益達成

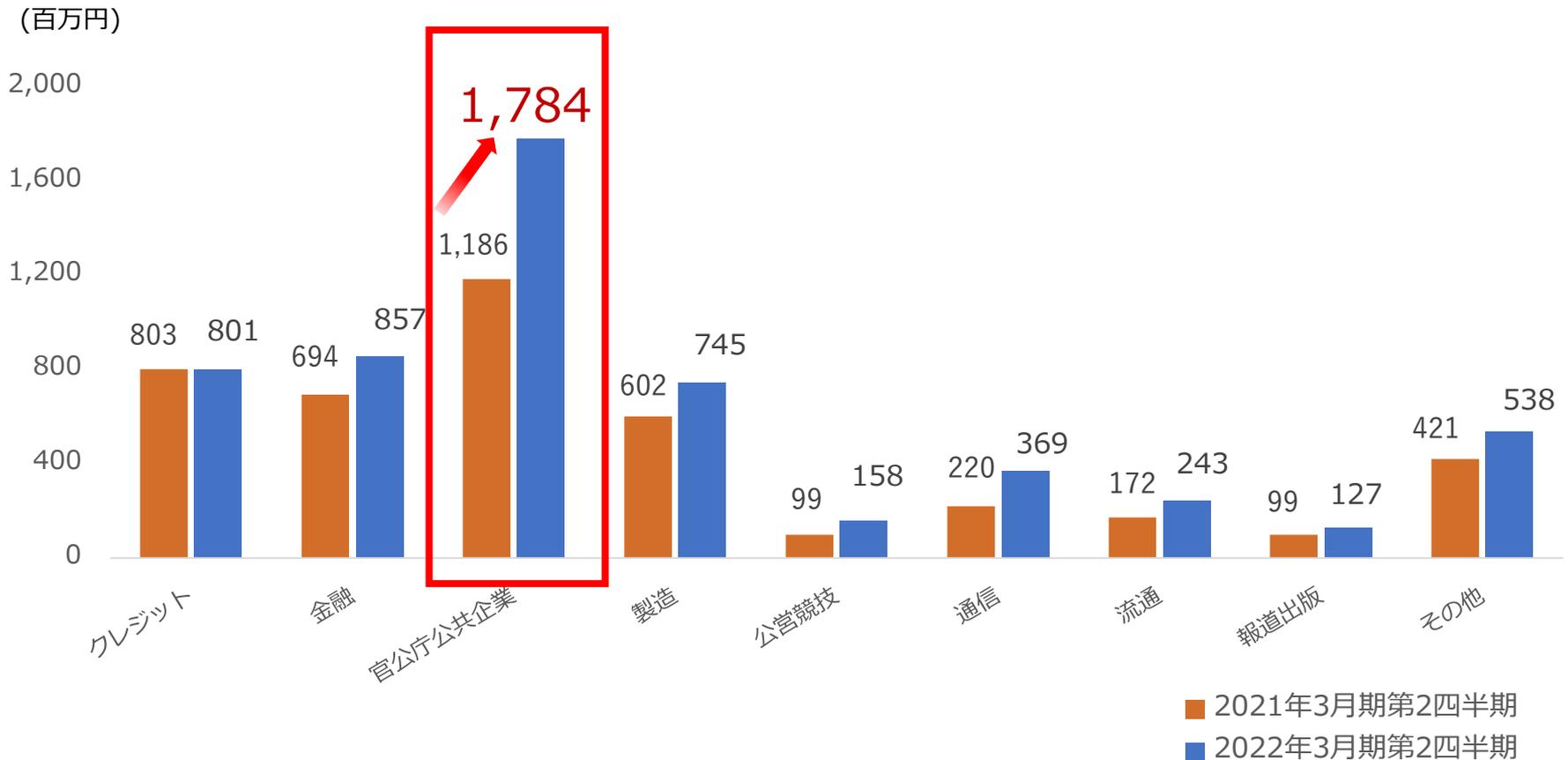


- ① 売上高増加に伴う増益
- ② 不採算プロジェクト

- ③ 販管費の増加による減益
- ④ 原価率の改善

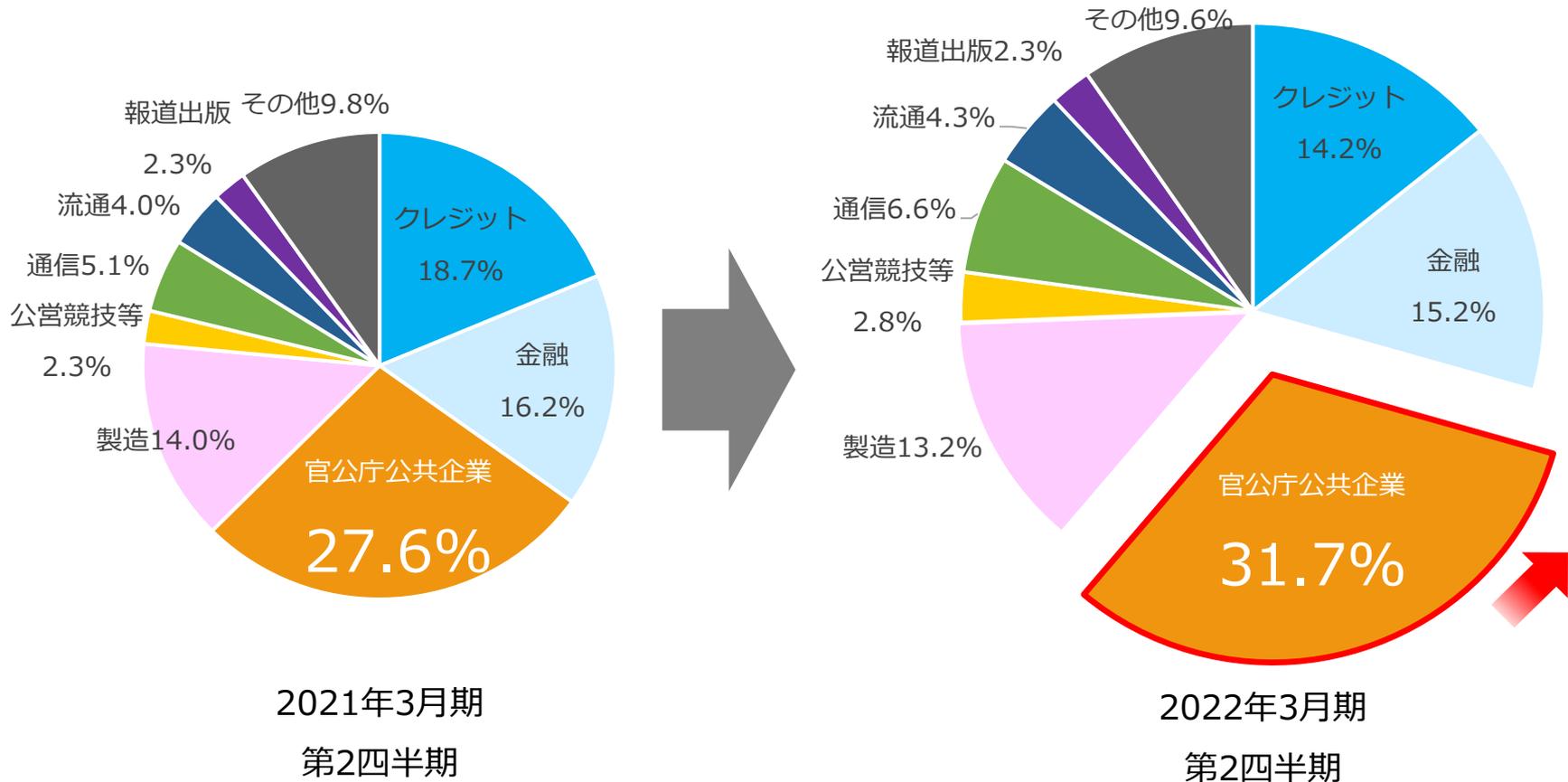
1-3. 業種別売上高

▶ 全業種において上向き傾向。特に官公庁、自治体等の「公共分野」が急増



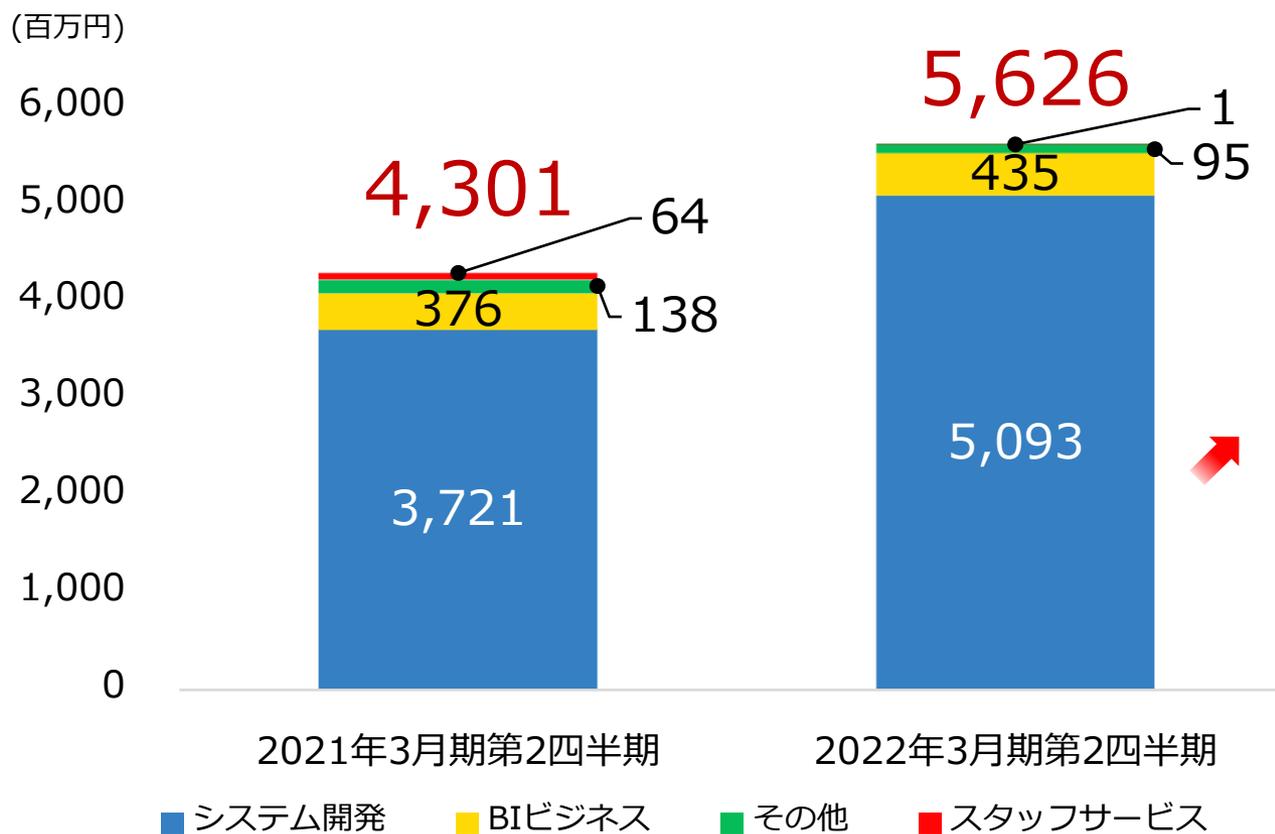
1-4. 業種別売上高 構成比

▶ 「官公庁公共企業」が全体の1/3強となり、「公共分野」のビジネスがさらに拡大



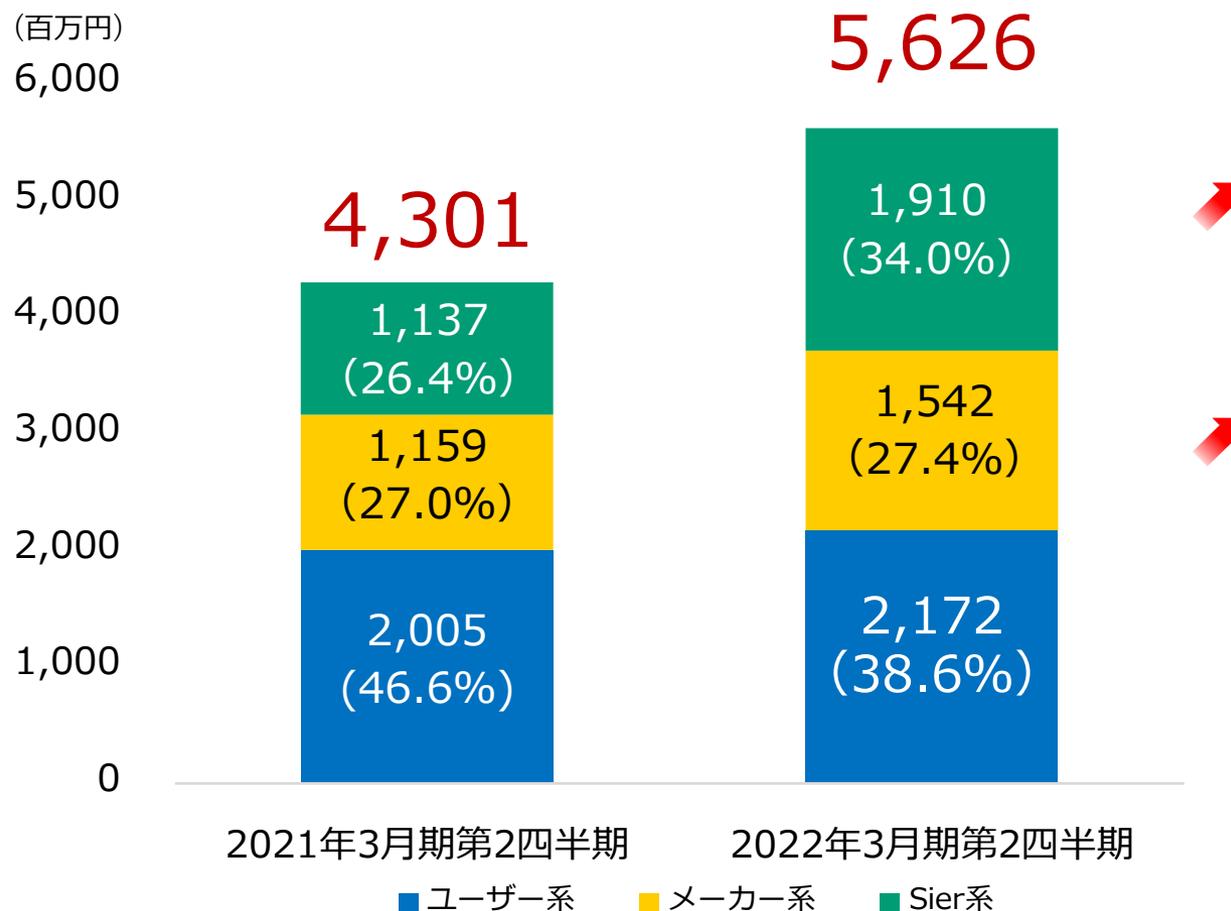
1-5. 事業別売上高

▶ コロナ禍の厳しい社会・経済環境の中、「コア事業」を支えるシステム開発が拡大



1-6. 契約先別売上高

▶ メーカー系、Sier系が大幅に伸長。ユーザー系は堅調に推移



1-7. 2022年3月期 業績予想（連結）

▶公共、製造分野を中心とした事業の拡大により、売上高は14%の伸長を見込む

	2021年3月期		2022年3月期（予想）		
	金額	売上比	金額	売上比	増減比
売上高	9,626	100.0	11,000	100.0	14.3
売上総利益	2,005	20.8	2,265	20.6	13.0
販管費	1,511	15.7	1,765	16.0	16.8
営業利益	493	5.1	500	4.5	1.3
経常利益	539	5.6	550	5.0	1.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	369	3.8	371	3.4	0.4

（百万円、%）

2. DXビジネスの推進について



<経済産業省「DX認定取得事業者」に選定>



DX認定

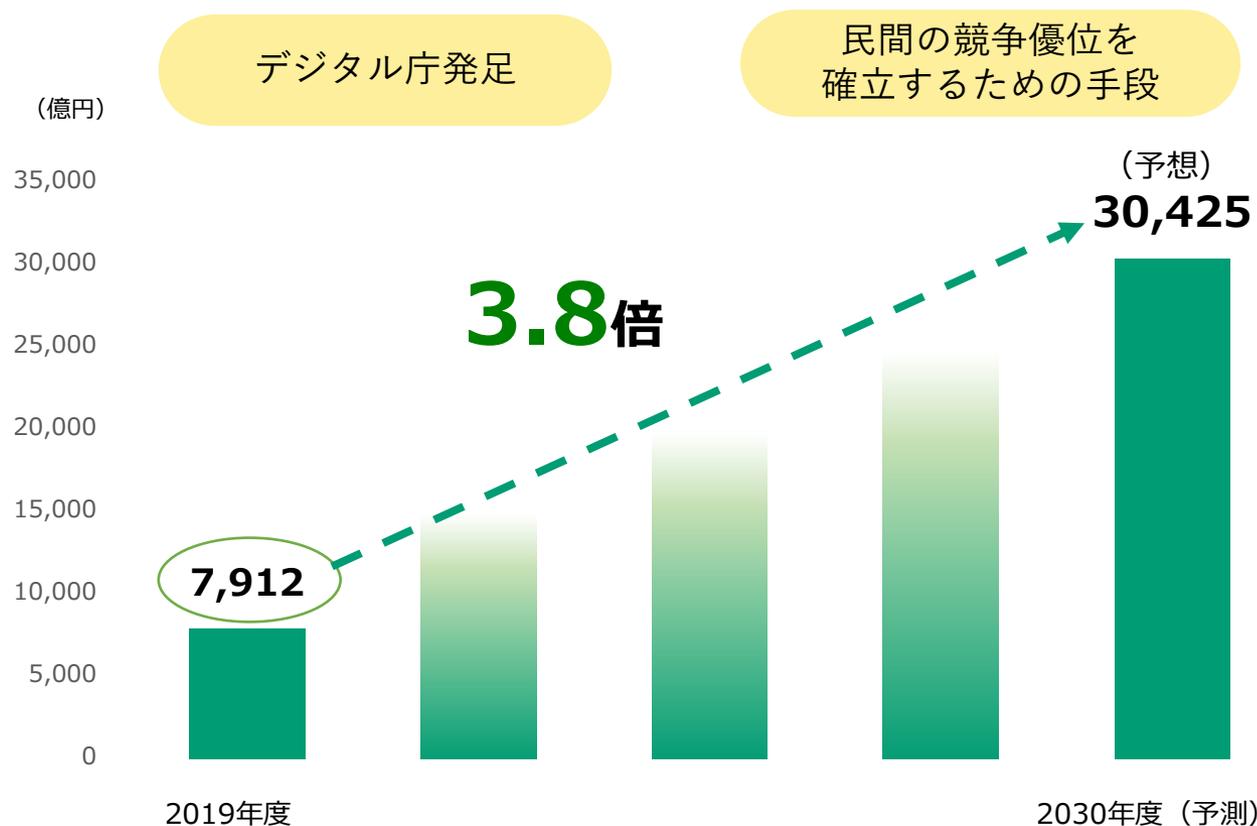
【取得社数：209社】

(2021.10現在)

「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応し、社内外におけるDX推進の準備ができている企業として認定

2-1. 拡大するDX市場

行政/自治体及び民間企業のDXも進み、2030年度には市場規模が3.8倍に拡大
(2019年実績比)



引用：株式会社富士キメラ総研『2018デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望』

2-2. 当社が担うDXビジネスの概要

当社の強みとする業務ノウハウやデータ活用を活かしたDX推進



2-3. 当社におけるDXビジネス戦略

DX推進による新しいビジネスを共創し、競争力向上を目指す

(2-3-1)

▶ DX推進支援サービスのフレームワーク「CC-Dash」提供開始

(2-3-2)

▶ DXサービスマッピング

(2-3-3)

▶ データ・業務ノウハウを活用したDX支援サービスの拡充

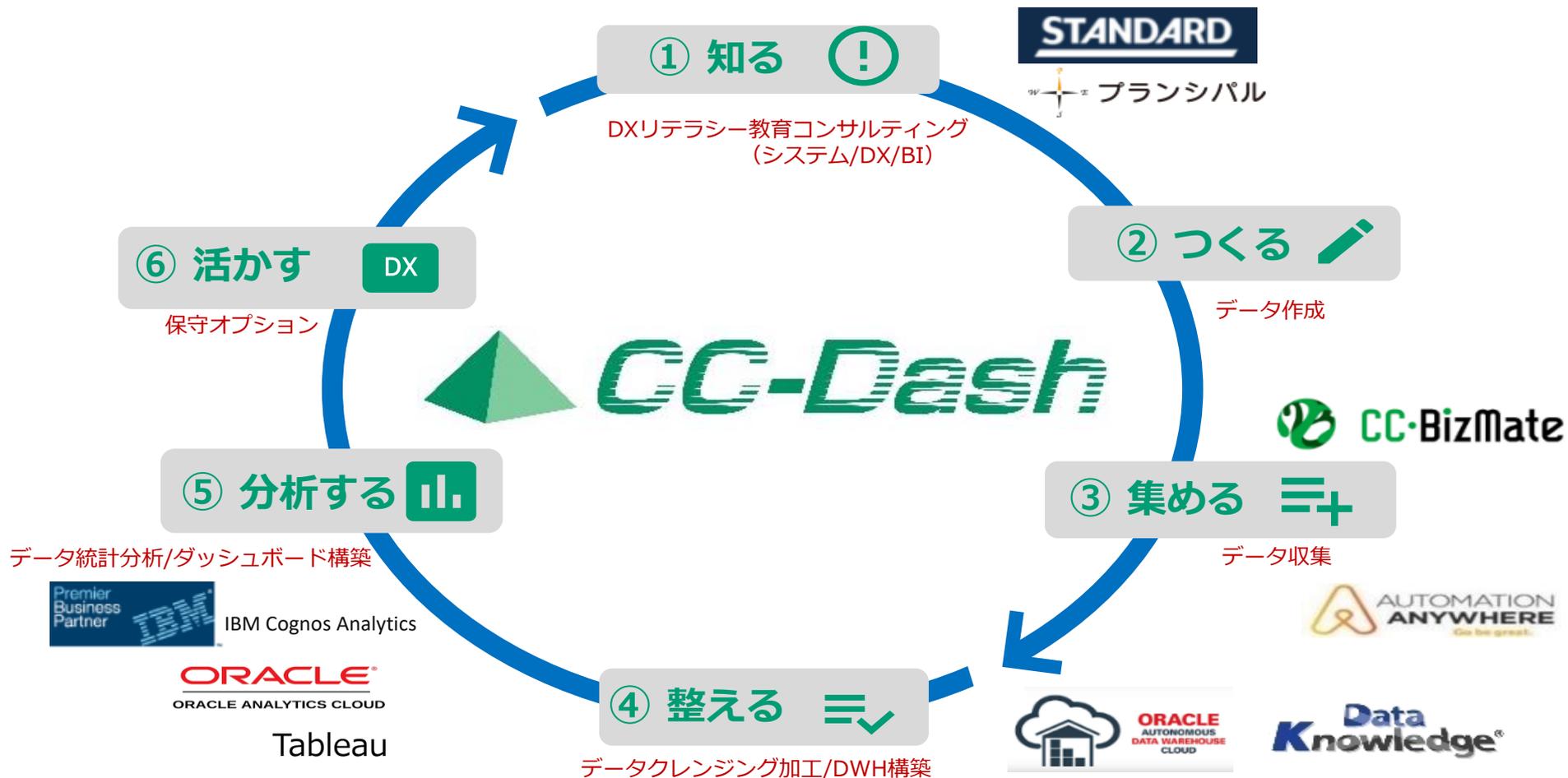
2-3-1. DX推進支援サービスのフレームワークの提供

当社は独自のDX推進支援サービスのフレームワーク「CC-Dash」提供開始
(2021.4～)



2-3-2. DXサービスマッピング

DXを推進する当社独自の手法で課題を解決し、お客様のDXを実現



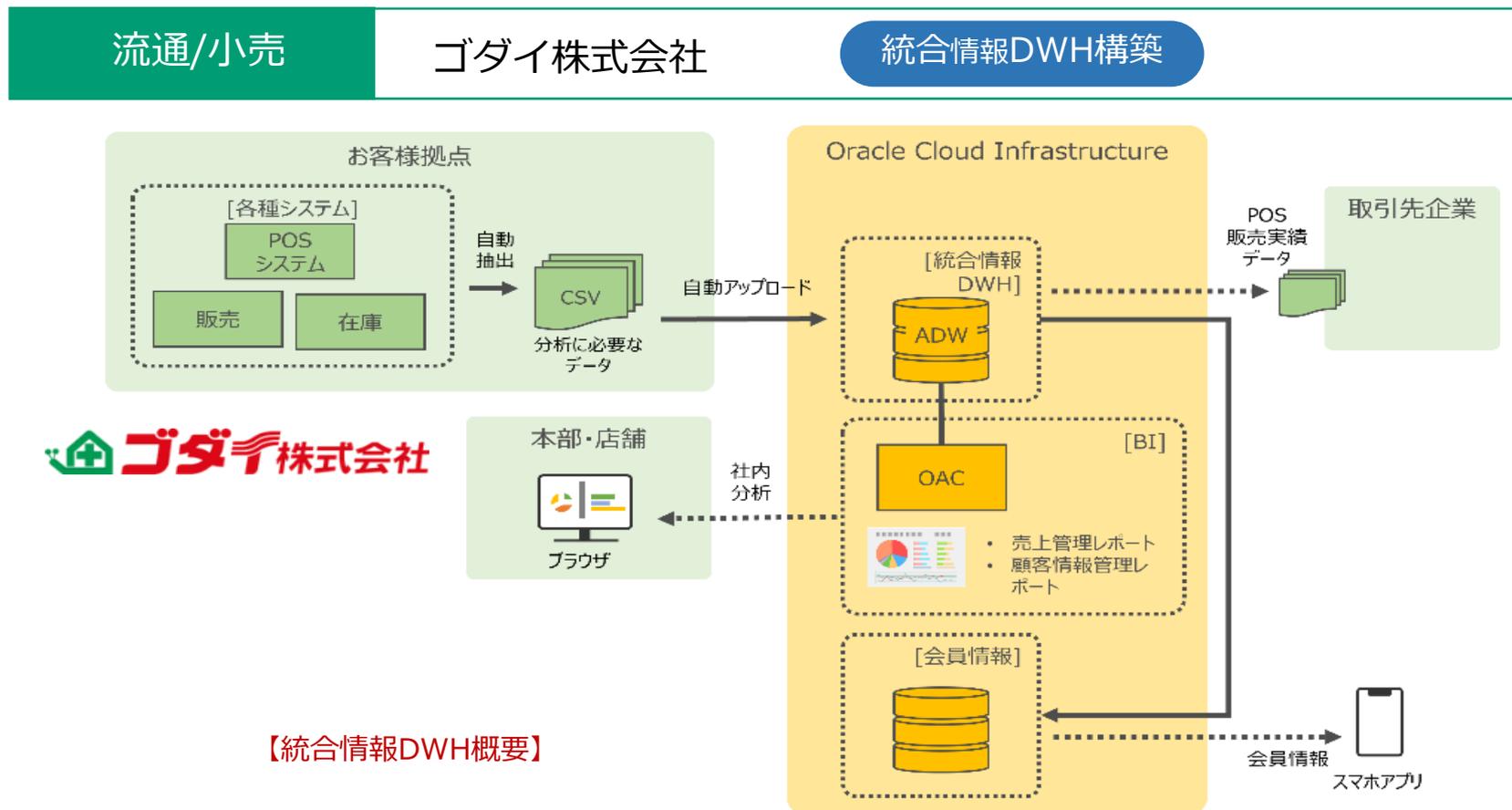
2-3-3. データ・業務ノウハウを活用したDX支援サービスの拡充

「CC-Dash」が“hub”となり、社会のあらゆる分野のDXを推進



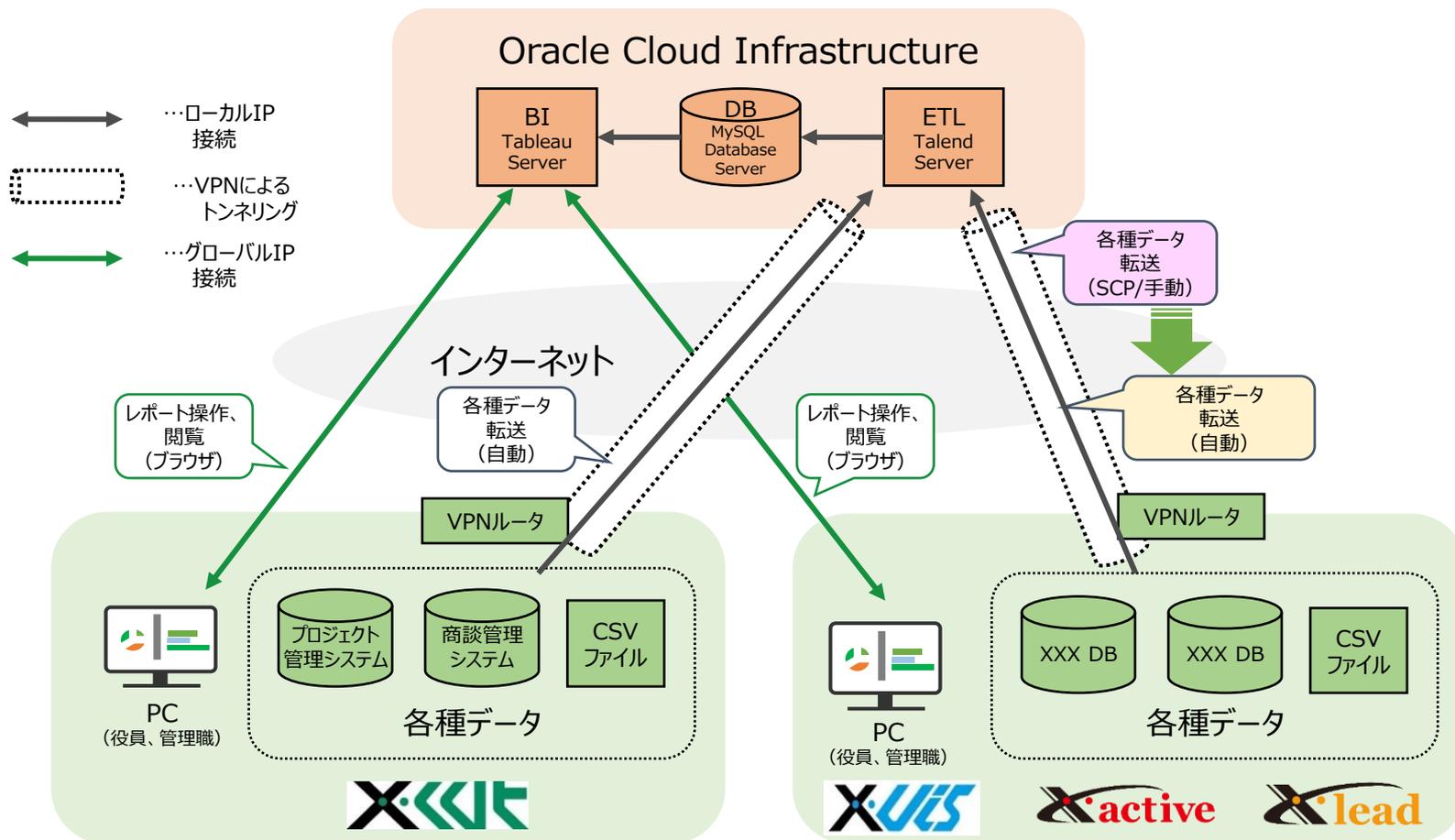
2-4. 「CC-Dash」を通じたDX推進サポート実績

パブリッククラウドサービスのOracle Cloud Infrastructure 上に統合情報DWHを構築し、販売や会員情報など膨大なデータを一元管理して横断的なデータ分析を実現



2-5-1. 社内におけるDX推進実績

蓄積された技術力、知見、実績を活かし、新たなDX推進支援サービスの開発へ



*本資料についてのご注意

本資料は、当社の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に掲載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。